

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~2日	7月 ~9日	7月 ~16日	7月 ~23日	7月 ~30日	8月 ~6日
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	17	12	8	21	17	15
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	30	20	14	20	18	14
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	7	1	4	8	5	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	3	0	4	1	4	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	4	2	3	1	1	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	1	1	2	3	1	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

*その他は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第31週(7月31日~8月6日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	11	結核	11		1	2		6	1	1	
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4							4	
四類	9	A型肝炎	1				1				
		重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	2						1	1	
		日本紅斑熱	2			1					1
		レジオネラ症	4		1			3			
五類	5	アメーバ赤痢	1					1			
		梅毒	4					3		1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり14.69人の報告があり、増加が続いています。お盆の帰省や旅行等により、普段会わない人と会うことで感染を広げてしまう可能性があります。帰省や旅行前から、いつも以上に感染予防を心がけましょう。また、体調がすぐれない場合は、帰省を控えましょう。

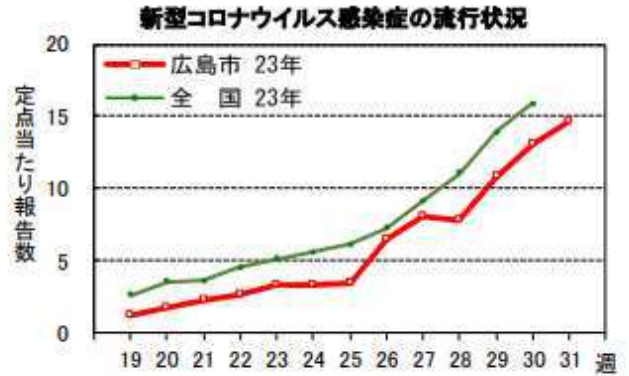
移動先でも、換気、マスクの効果的な場面での着用、手洗いなど、基本的な感染対策を徹底しましょう。

2 梅毒

今年の累計は180件となり、非常に多い状況が続いています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

3 レジオネラ症

3件の報告があり、今年の累計は26件となりました。



保健センターの無料・匿名の梅毒検査

広島市の各区保健センターでは、無料・匿名の梅毒検査を実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	16	0.44	0.12	↓	小児科	ヘルパンギーナ	44	1.83	0.82	↗
	新型コロナ(COVID-19)	529	14.69		↗		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.04	
小児科	RSウイルス感染症	21	0.88	3.30	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	7	0.29	0.40			流行性角結膜炎	5	0.63	0.43	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	49	2.04	1.05	↔	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	60	2.50	2.87	↗		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	水痘	2	0.08	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	手足口病	33	1.38	2.19	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.12			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	7	0.29	0.30							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ↔ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	79	10歳代・2人、60歳代・1人、80歳代・2人、100歳代・1人
4	レジオネラ症	3	26	60歳代、70歳代、90歳代
5	アメーバ赤痢	1	5	50歳代
5	梅毒	3	180	40歳代・3人